

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 県営林保育・管理事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林保全課 水源林保全係 電話番号：058-272-8496

E-mail：c11519@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 45,339 千円 (前年度予算額：41,709 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	41,709	0	0	0	8,141	0	648	0	32,920
要求額	45,339	0	0	0	11,201	0	600	0	33,538
決定額	45,339	0	0	0	11,201	0	600	0	33,538

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・ 明治39年以降平成18年までに森林資源の培養と県土保全を図り県の基本財産を造成するために22箇所、約4,000haの山林を取得した。
- ・ 明治41年以降昭和55年までに土地所有者との間に締結した収益を分けあう分収契約に基づき、121箇所約3,900haの造林を実施した。
- ・ 取得、契約以後に植栽した人工林は現在40～50年生が主体であり、木材生産及び森林の公益的機能の維持・増進のために間伐事業等の実施が必要。

(2) 事業内容

- ・ 森林の健全な育成と社会的要請に対応した適正な県営林の経営・管理を行うとともに計画的な保育事業を実施し、県有財産の増進に資する。また、契約期間満了となる分収林については、収穫事業を所有者に協議し、財産収益事業を検討する。

令和5年度 保育事業 下刈 1.76ha、作業道災害復旧、作業路補修、立木販売調査、分収林における販売に伴う交付金の支給 等

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国の補助対象とならない保育・管理事業を行う。
県費10/10

(4) 類似事業の有無

- 有 県営林植栽・保育事業において、国の補助対象となる事業を行っている。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	84	講師謝礼
旅費	851	費用弁償、業務旅費
需用費	711	消耗品費、印刷製本費、光熱水費
役務費	1,177	森林火災保険料、通信運搬費
委託料	34,304	管理委託事業費
使用料及び賃借料	310	会議室使用料
負担金、補助及び交付金	7,902	分収交付金等
合計	45,339	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

第10期県営林経営計画（H31～R5）に基づき、間伐・除伐等による森林の整備及び公益的機能の高度発揮のための施業・管理を計画的に実施する。

(2) 事業主体及びその妥当性

県の所有する県有林及び森林を地上権設定した県行造林として、県が保育・管理する必要がある。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

木材生産及び森林の公益的機能の維持・増進のために間伐事業等を第10期県営林経営計画（平成31年度～令和5年度）に基づき実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
間伐面積	—	300.16ha	320.6ha	506.83ha	506.83ha	59.22%

○指標を設定することができない場合の理由

—

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容と成果を記載してください。 森林の維持・増進のため保育・管理を実施。 間伐面積：令和2年度 101.28ha
	指標① 目標：506.83ha 実績： 達成率： ____ %
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組み内容と成果を記載してください。 森林の維持・増進のため保育・管理を実施。 間伐面積：令和3年度 300.16ha
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	森林の公益的機能の維持・増進のため、健全な育成と社会的要請に対応した適正な県営林の経営・管理が必要である。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	第10期県営林経営計画に基づき、計画的に実施している。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	県営林保育・管理事業として、県下の県営林を一体的に管理している。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 事業量の維持・確保のため、さらなる長期の伐採施業計画作成、分収契約変更を推進する。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 森林の公益的機能の維持・増進のため、第10期県営林経営計画を着実に実施する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	